

5 縦割り活動

(1) 目 標

異学年児童との交流活動を通して、リーダーシップを育てると共に、自己有用感の伸長を図り、みんなで楽しく豊かな学校生活を送ることができるようにする。

- ・リーダーシップ……責任を持って集団をまとめることができる。
- ・自己有用感……下級生の面倒を見ることで、自分に自信を持つことができる。
- ・向上心……学校生活全般において下級生の良い手本となることができる。また、下級生は良い手本となる上級生に近づこうと努力できる。
- ・思いやりの心……多様な存在を認め、配慮することができる。
- ・問題解決能力……メンバーの意見を聞き、話し合いを通して解決したり調整したりできる。
- ・フォロワーシップ……自分の役割を果たし、みんなで協力することの楽しさを味わうことができる。

(2) 担 当

- ・計画立案は、各行事担当者が行い、全職員で係や児童の指導、安全への配慮を行う。
(生活支援員は、要支援児童をサポート。)

(3) グループ

- ・児童数が最小の学年に合わせる。本年度は15グループ編成。
- ・編成にあたっては、年度末に学級児童の様子をよく知る現担任が行う。新6年生から順次表に入力していく。新1年生は縦割り活動の担当者が入力するが、入学後、1年担任が見直しする。
- ・グループ編成にあたっては、次の点に留意する。
①兄弟姉妹 ②男女のバランス ③リーダー性 ④要支援児童。

(4) 活動時間

- ・常時活動……縦割り清掃
- ・児童集会……雪まつり集会、6年生を送る会等
- ・学校行事……なべっこ、新体力テスト等

(5) その他

- ・活動によって付けたい力やねらいによって、年度当初のお世話活動としての1・6年や生活科の学習における1・2年など、ペア学年の活動も考えられる。